

| | | | | | | | | |
|-------------------|---|--|------|---------|-------|----------|-----|----------|
| 授業科目名 | 【G】 教養演習Ⅰ・Ⅱ | 区分 | 開講年次 | 【G】2 | 単位数 | 【G】2 | | |
| 科目区分 | 基本科目 | | | | | | | |
| 授業形態 | 対面授業 | | | | | | | |
| 担当形態 | 単 独 | | | | | | | |
| 施行規則に定める科目区分又は事項等 | | | | | | | | |
| サブタイトル | 学校教育を学ぶ | | | 担当者 | 田中 將之 | | | |
| 授業概要 | 【概要】 | 本講義では、学校教育に興味・関心のある学生を対象とし、教育全般(特に、教育心理学、学習法、校則、教育思想、教育法規、生徒指導等)に関して学んでいくものである。履修者は、自らテーマを設定し、そのテーマに基づき調査を行い、資料を作り発表を行う。その発表を受けて、参加者全員でグループディスカッション・質疑応答を行います。 | | | | | | |
| | 【到達目標】 | 学校教育全般に関する理解を深めることができる。 自分でテーマを設定し、調査・資料作成・発表することができる。また、グループディスカッションに積極的に参加することができる。 | | | | | | |
| 履修条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員となることを第一志望としている。 ・1年次の教職課程の科目を履修しており、且つ社会科検定に必ず参加している。 | | | | | | | |
| アクティブラーニングの方法 | 【－】 | 事前学習型 | 【－】 | 反転授業 | 【○】 | 調査学習 | 【－】 | フィールドワーク |
| | 【－】 | 双方向アンケート | 【○】 | グループワーク | 【○】 | 対話・議論型授業 | 【－】 | ロールプレイ |
| | 【－】 | プレゼンテーション | 【－】 | 模擬授業 | 【－】 | PBL | 【－】 | その他 |
| ディプロマ・ポリシーとの関連性 | DP(ディプロマ・ポリシー)① | － (当てはまらない) | | | | | | |
| | DP(ディプロマ・ポリシー)② | ◎ (よく当てはまる) | | | | | | |
| | DP(ディプロマ・ポリシー)③ | ◎ (よく当てはまる) | | | | | | |
| | DP(ディプロマ・ポリシー)④ | － (当てはまらない) | | | | | | |
| 他科目との関連性 | ・教育原理、教育心理学、学習・発達論、中等教育論、生徒指導論 | | | | | | | |
| 教科書 | ・特に設定しない。 | | | | | | | |
| 参考書 | ・特に設定しない。 | | | | | | | |
| 評価方法 | ・発表時の作成資料・発表内容・態度(70%)、集団活動(グループディスカッション)への参加状況(30%) | | | | | | | |
| フィードバック方法 | ・作成資料・発表内容へのコメント、グループディスカッションに関するコメント | | | | | | | |
| 評価基準 | ・授業に積極的に参加、発表時には優れた資料を作成して説得力のある、明瞭な発表(説明)を行っていること、ディスカッション等への参加態度が良好な者は「S」または「A」、不足のある者はその程度により「B」または「C」とする。授業への参加度が低く、資料や発表内容が著しく不十分な者は「D」または「E」、判定不能な者は「F」とする。 | | | | | | | |

| 授 業 科目名 | 【 G 】 教養演習 I ・ II | 区 分 | 開講年次 | 【 G 】 2 | 単位数 | 【 G 】 2 |
|------------|--|---------|------|---------|-----|---------|
| | | 選 択 必 修 | | | | |
| 授業内容 | <p>・学生自身のテーマ設定に基づく学校教育についての学習(発表学習と質疑応答) 教育心理学の場合(例, 知能, 記憶) 教育思想の場合(例 ペスタロッチ, デューイなど) 教育史の場合(例 江戸期の教育状況, 明治以降の義務教育の流れ) 教育法の場合(例 校則の法的根拠, 教育基本法) 生徒指導論の場合(例 いじめ, 不登校)</p> <p>〈アクティブラーニング〉 この演習では、単に発表者が調査の報告を行う、参加者がそれを聞くというものだけでなく、その内容に基づきグループディスカッション・質疑応答を行います。従って、自分が資料作成や報告を担当しない回であっても、常に主体的な態度で学修に取り組むことが求められます。</p> | | | | | |
| 予習内容 | <p>・事前に予告があったテーマについて、予習をしておく。予習は、各120分程度を目安にしてください。</p> | | | | | |
| 復習内容 | <p>・自分以外の履修者が発表した場合は、その内容に関する復習。復習は、各120分程度を目安としてください。</p> | | | | | |
| その他 | <p>・発表に関する学生相互の評価を行う場合があります。必ず学校教育に関心のある学生が履修してください。</p> <p>※Gカリ:【 I は選択必修(A)・II は選択必修(B)】</p> | | | | | |